



三内丸山通信

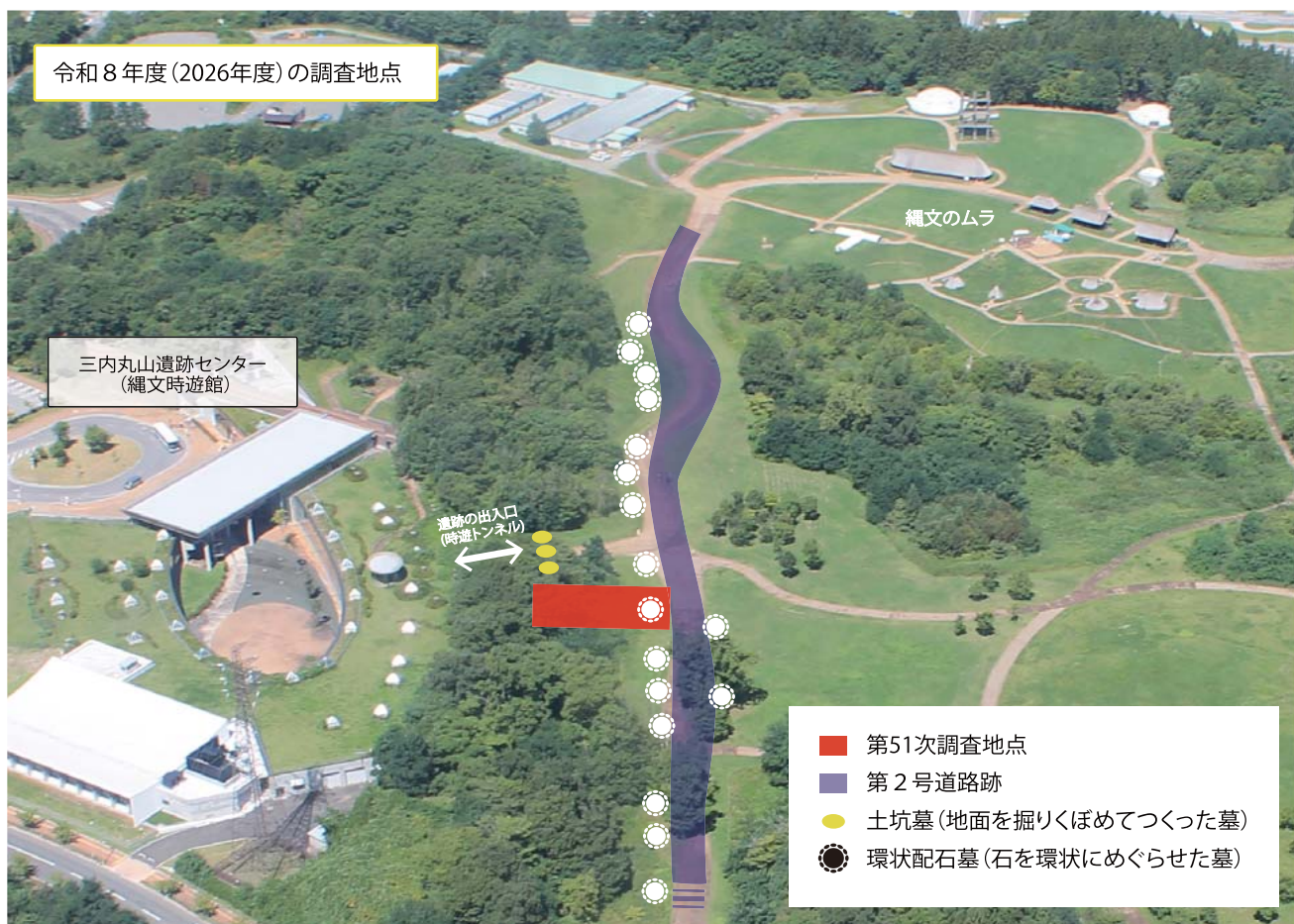
第51次発掘調査がはじまりました！

三内丸山遺跡では、縄文時代のムラや人々の生活の様子を明らかにするため、毎年発掘調査を行っています。

今年度は、第51次発掘調査として、第2号道路跡の

西側を調査しています。

三内丸山遺跡では、縄文時代の道路跡が3か所で見つかっており、いずれもその脇に墓が並ぶことが確認されています。今回調査する場所の付近でも、過去に



【令和8年度発掘調査地点】

第2号道路跡に沿って環状配石墓(石を環状にめぐらせた墓)が並ぶことや、道路跡西側の斜面に3基の土坑墓(地面を掘りくぼめてつくった墓)が並ぶ様子が確認されています。

今年度はその土坑墓が発見された斜面の南側を発掘し、土坑墓列が南側に続くのか、また、その他の遺構があるのかどうかを調べます。

発掘調査現場は、10月9日(金)まで公開しています。雨の日や休館日、臨時の休止日を除く平日の9時～12時、13時～16時30分に調査の様子を間近で見学することができま

す。現場公開日の午前11時から、調査担当者が15分ほどの現場ガイドを行い、質問等にお答えします。

また、三内丸山遺跡公式ホームページの「発掘最前線」でも調査の様子を毎週更新していますので、ぜひご覧ください。

大陸とのつながりを物語る出土品が集結！ 特別展

「北の縄文とアジア —海をこえたつながり—」を開催中です

北海道・北東北の縄文遺跡群は、北東アジアで発展した狩猟・漁労・採集を基盤とする定住の開始から発展、成熟に至る過程を示す点が評価され、世界遺産に登録されました。

本展では、北の縄文のくらしやまつり、そして日本列島と大陸との交流の姿を、北東アジアの視点からひもときます。

今回の展示では、38年ぶりに青森に里帰りする重要文化財「人形装飾付壺形土器」(左の写真)をはじめ、大陸とのつながりを物語る出土品が、集結しています。

この機会に、北の縄文の魅力をご体感ください。

また、7月26日には特別展に関連した国際シンポジウムを開催し、今後、縄文学講座や縄文時代のアクセサリや動物をかたどった土製品を製作する縄文体験も開催します。特別展の観覧とあわせて、ぜひご参加ください。



【重要文化財 人形装飾付壺形土器
弘前市十腰内出土
東京国立博物館蔵
写真 ColBase】



【重要文化財福井県桑野遺跡出土品
あわら市教育委員会蔵】

北海道・北東北の縄文遺跡群 世界遺産登録5周年記念特別展 「北の縄文とアジア —海をこえたつながり—」

会場：三内丸山遺跡センター企画展示室
会期：令和8年7月17日(金)～10月12日(月・祝)
観覧時間：午前9時～午後6時(7月～9月) ※入場は閉館の30分前まで
午前9時～午後5時(10月)
休館日：8月24日(月)、9月28日(月)
観覧料：一般1,200円(960円)・大学生等600円(480円)
()内は20名以上の団体、高校生以下無料
※特別展観覧料で遺跡を含む常設展も観覧可能です。





あおもりJOMON世界遺産フェスタで 最高の思い出を!

一緒に
楽しい思い出を
作ろう!!



日 時	場 所	内 容
7/25(土) 7/26(日)	サンロード青森	・世界遺産登録5周年を記念した宮下知事のトークイベント ・縄文キャラクター、ジョナゴールドさんや子どもたちなどによるステージイベント ・縄文にちなんだ縁日コーナー など
8/30(日)	イオンモール下田	・縄文にちなんだ縁日コーナー ・ショッピングモールを利用したクイズラリー ・縄文グッズガチャ など
9/13(日)	イオンモールつがる柏	
9/18(金)～ 9/24(木)	マエダ本店	・世界遺産の構成資産のパネル展示及び映像放映

イベントの詳細は三内丸山遺跡ホームページを御確認ください。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録5周年を記念して、県内4か所のショッピングモールでイベント盛りだくさんの「あおもりJOMON世界遺産フェスタ」を開催します!

さんまる縄文体験の
参加者を募集
しています。

粘土でクマなどの土製品を作る「動物形土製品を作ろう」といった、楽しみながら縄文時代について学べる体験メニューをご用意しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

※申込み方法等の詳細は、ホームページをご確認ください。

さんまる縄文体験 今後の予定

開催日	メニュー	定員	申込締切
9/5(土)	動物形土製品を作ろう	20	8/19(水)

※対象は小学3年生以上 (小学3・4年生は保護者の同伴が必要です。)



【これまでの体験の様子 石のアクセサリを作ろう】

子どもの墓の覆屋がリニューアルしました。

令和7年6月から実施していた子どもの墓覆屋のリニューアル工事が完了し、4月16日から公開を再開しました。以前の覆屋は設置から30年が経過し、経年劣化によって屋根から雨漏りが発生するなど、遺構に与える影響が心配されていました。新しい覆屋は、外気の流れ込みを少なくし、壁の材料に断熱性能の高い素材を使用したこと

で、より遺構の保存に適した環境へと改善されました。また、照明を新しくしたことで、屋内が以前より明るくなり、棺に用いられた土器の状態が観察しやすくなりました。外壁は林に囲まれた周囲の景観となじむよう、濃い茶色としました。リニューアルによって環境を整えながら、これからも皆さまに遺跡の魅力を伝えていきます。



工事が完了し、公開を再開した子どもの墓覆屋

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録5周年記念「三内丸山縄文春祭り」を開催しました!



令和8年4月18日(土)・19日(日)に「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録5周年記念「三内丸山縄文春祭り」を開催し、4,245人の方にお越しいただきました。ありがとうございました!

縄文時代の生活を体感できる「縄文ハンター」や「薪割り体験」などの恒例イベントのほか、ライスボール実土里さんとオリジナルデザインの縄文服を制作する体験を実施しました。多くの子どもたちが個性あふれる縄文服を制作しました!子どもたちは制作した縄文服を着て、実土里さんとクイズラリーの遺跡散歩を行い、とても有意義なイベントとなりました。

今後は、10月24日(土)、25日(日)に「さんまるJOMONの日」を開催予定です。縄文好きで馴染みの平沼日菜子さんが当時の食を参考にオリジナルの「縄文鍋」を、来場者の皆さまに振る舞うイベントなどを予定していますので、お楽しみに!



イベントに関する最新の詳しい情報は、
三内丸山遺跡公式ホームページで
確認できます。

